

宇部市文化振興まちづくり審議会 概要

日 時：令和 6 年(2024 年)10 月 18 日（金）14:00～15:30

場 所：渡辺翁記念会館 1 階 会議室

出席者：委員 6 人（欠席 3 人）

事務局：藤崎副市長

観光スポーツ文化部：青山部長、森本次長

文化振興課：中祖課長、伊藤副課長、越智副課長、上田文化振興係長

学びの森くすのき・地域文化交流課：石川副課長

任命書交付式

- 1 開 式
- 2 任命書交付
- 3 副市長挨拶
- 4 委員及び事務局紹介
- 5 会長・副会長選出

会長、副会長の選出について委員に諮ったところ、委員より事務局案の提示を求められた。事務局が、会長に中野委員、副会長に真鍋委員を提示し、審議会規則第 2 条第 1 項の規定により選出した。

第 2 回宇部市文化振興まちづくり審議会

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1)「文化振興ビジョン（第三次）」について
 - (2) その他

文化振興ビジョン（第三次）について、事務局より説明した。

会 長： 非常に網羅的によくまとまっているという印象で、本質的な課題を含めて取り組んでいると感じる。このビジョンは文化財の保存まで含んでいるということか。

事務局： そのとおり。

委 員： この審議会は何を目指すのか。何かを提案するということか。

事務局： この審議会の主な役割は、文化振興ビジョン策定時に意見をいただくこと。現在の第三次文化振興ビジョンの計画期間は令和 8 年度までで、最終年度の令和 8 年度には、審議会において改定案を示し、意見をいただくことになる。それまでは、第三次文化振興ビジョン掲載事業の進捗状況を報告し、それに対してご意見をいただくという形になる。本日は、取組等をご覧いただいて質問等あれば回答したい。

会 長： ビジョンの 2 ページ、対象とする文化で①芸術、②芸能、③映像文化、④生活文化とあって、市民の生活における文化活動のかなり広い領域を網羅していると思うが、これは市として、どのような組織体で取り組んでいるのだろうか。文化行政に係わることだから文化振興課が主体となって取り組むということによいのか。

事務局： 文化行政は文化振興課が主管だが、実際の活動は宇部市文化創造財団に担ってもらっている。文化財の保存等は学びの森くすのき・地域文化交流課が担当している。

委 員： ビジョン 8 ページのアンケート結果は、アンケート調査期間が令和 3 年 5～6 月で、コロナで活動できない期間が含まれており、通常とは異なる結果だったのではないと思う。それは考慮されていたのだろうか。

事務局： 第三次ビジョン策定の基礎資料とするため 5 年ごとに無作為で 3,000 人抽出してアンケート調査を行っている。

総括的数値目標等の設定の資料としては、毎年実施している市民モニターアンケートの結果に基づき、コロナ禍前の令和元年度の数値も勘案し、総合的に数値目標を設定した。

委 員： 今年の第 1 回資料を基に説明した方が分かりやすいと思うがどうか。

事務局から、第 1 回審議会資料を基に、目標指標等について説明を行った。

委 員： 文化振興によるまちづくりを推進している自治体をモデルにしているのか。

事務局： 彫刻の文化が宇部市固有の財産であり文化でもあるということで、彫刻事業を盛り込むことで宇部市の独自性を出している。特に他の自治体を参考とはしていない。

委 員： 宇部市の人口が減っていく中で、関連人口としての外から来る人を増やす必要があると、活動しながら常々感じている。先日山口東京理科大学の学生と話した際、ビエンナーレのことは知っているが、具体的にどのようなイベントがあるのかは知らないとのことだった。近隣にも PR はしていると思うが、具体的にどのようなアプローチをしているのだろうか。そういうことをこの審議会でしていけばよいのかもしれないが、現状を聞きたい。

事務局： ビエンナーレについては、近隣の市町へ広報物の送付による周知を行っている。若い世代へのアプローチについては、市としても課題として感じており、近隣市町との連携とともに、今後もこの審議会でご意見をいただければと思っている。

会 長： このビジョンには社会的包摂も入っている。県では「山口県障害者芸術文化祭」が毎年開催されているが、そのような事業もあるのだろうか。

事務局： 過去、団体が企画された展示会はあったが、市では特に企画したことはない。

会 長： 県でも一般的な文化祭ではあまり芸術的な観点の展示はされていないが、アーティストに特化した活動をしている人もいますので、そのような活動もできれば。もし今後企画されることがあれば「山口県障害者芸術文化祭」にエントリーされたらよいのではないかと思います。

次に、音楽的な視点での文化活動のサポートはどのようにされているのか。

事務局： 音楽に関するサポートとしては、宇部市文化創造財団において、様々な音楽のイベントを開催するほか、若手音楽家への支援・助成等を行っており、そういったところで支援している。

会 長： アートコミュニケーター、アートマネージャーの違いを教えてください。

事務局： アートコミュニケーターは、1年間養成講座と実践講座を受講した人で、ワークショップ等を企画・運営するなど実践活動をしていく。自分で講師やパフォーマンスの提供はしない。現在 20 名程度が活動していて、財団が事務局となり活動を支援している。

アートマネージャーは、養成講座を受講した後、活動の中でその知識を生かしてマネジメント活動を行い、例えばワークショップの講師もできる。登録制ではないため、活動している人数は把握していない。

委 員： アートパフォーマーは登録制だったと思うがどうか。

事務局： アートパフォーマーバンクは、演奏家や舞踊家など、実際に活動する、パフォーマンスを提供する人や団体が自発的に登録申請され、その情報を見た希望者が活動を依頼する形になっている。